

## 創立20周年に寄せて



公益財団法人奈良先端科学技術大学院大学支援財団理事長  
辻 井 昭 雄

このたび、奈良先端科学技術大学院大学が、めでたく創立20周年を迎えられましたこと、心からお慶びを申し上げます。

大学院大学は、平成3年10月、科学技術立国日本の実現のため、最先端の科学技術を追求するという使命のもと、関西文化学術研究都市内の高山サイエンスタウンに創設されました。以来、情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の各分野のほか、分野を超えた融合領域にも取り組み、歴代学長をはじめ、多くの研究者の先見性にご努力により、高度な基礎研究において様々な実績を積み重ねられてこられました。まさに、わが国の科学技術分野において先端を走る大学としての地位を築いてこられました。

平成21年度には、文部科学省が実施した、第1期中期目標・中期計画期間中に関する評価において、研究水準・教育水準・教育研究達成度・業務運営達成度について、86国立大学法人の中で第1位の評価を得られました。また、論文の引用や、教員1人当たりの科学研究費補助金採択件数と配分額、特許ライセンス収入、大学発ベンチャー数でも第1位になるなど、教育研究と産学官連携の分野で多くの輝かしい成果をあげておられます。また、大学院大学で研究し教育を受けられた6千人もの卒業生の方々が、国際的に通用する研究者として、社会の発展に貢献する技術者として活躍されています。このように大学院大学が教育研究と産学官連携に関する成果で高い評価を受け、有為な人材を輩出しておられることは、支援事業に取り組んできた当財団にとりまして、この上ない喜びであり、誇りとするところです。

公益財団法人奈良先端科学技術大学院大学支援財団は、奈良・京都・大阪の3府県並びに経済界90社の出捐により平成3年7月に設立しました。大学院大学の教育研究活動、国際交流活動、学術研究成果の普及活動への支援を柱として、産学官連携推進や新産業創出支援、さらに高山サイエンスタウンフェスティバル等の各種地域交流など様々な事業に取り組み、大学院大学の発展に些かなりとも関わりましたことはこの上ない大きな喜びであります。

今日、先端科学技術分野が求められるのは、環境・資源・エネルギー・食糧・生命・医療・情報・新材料等々であり、取り組むべき研究領域は多岐にわたります。今後とも、時代の変化や要請に応じて、未知領域への探求に果敢に取り組まれ、研究成果が社会発展につながるよう、大きな期待が寄せられているところであります。当財団と致しましても、大学が持つ特性や機能が最大限発揮されるよう、これまで同様の支援を続けまして、微力ながら先端科学技術分野の発展に寄与してまいりたいと考えております。

科学技術立国を目指すわが国において、世界をリードする研究・教育の拠点として、大学院大学のさらなる発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉と致します。